



# あわ文化の魅力発見★通信 No.3



『あわ文化の魅力発見☆通信』では、『あわっ子文化大使』が、『私のまちの文化』というテーマで地域の文化財や史跡、お祭り、郷土料理などを紹介します。あわっ子文化大使目線で紹介していきますので楽しみにしてください。

『あわっ子文化大使』とは…  
あわ文化を次世代に伝承するとともに、ふるさと徳島の魅力を県内外に発信できる中学生のリーダー



## うだつの町並み

けんりつかわしまちゅうがっこう 2年 しきしまりの 敷島 梨乃 さん

私が紹介する文化は、美馬市脇町にある「うだつの町並み」です。現在、ここには江戸中期から昭和初期に建てられた、合計 85棟の伝統的建造物が並んでおり、「うだつ」という、瓦葺きで漆喰塗りの防火壁が特徴的な町並みとなっています。うだつの町並みには、古い商家や民家が保存されており、まるで当時に戻ったような、そんな雰囲気を感じられる魅力があります。これらの建物が残る美馬市脇町南町は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、地元の方々に大切に保護されています。また、町並みを眺めながら、ゆっくりとくつろげるカフェや、藍染製品といった美馬市の特産品を購入できる土産物屋などもあり、心温まるひとときを過ごすことができます。

しかし、近年では建物の維持管理や後継者不足などの問題があります。このような問題を解決するために、私たちが今できることについて改めて向き合うことが大切なのではないかと思いました。この魅力あふれる「うだつの町並み」をぜひ一度訪れてみてください。



美馬市 提供



## 那賀川町と阿波公方

けんりつとみおかひがしちゅうがっこう 2年 こおり そうたろう 郡 聡太郎 さん

僕の住む那賀川町には、かつて阿波公方(平島公方)と呼ばれる人々が暮らしていました。1534年、足利将軍家の一族である足利義冬は、応仁の乱以降の戦乱を避けて平島の地にやって来ました。以後、9代270年の長きに渡り、地元の人たちに「公方さま」と親しまれ、尊敬されていました。その間、義冬の子・義栄は戦国大名・三好家の助けにより、室町幕府第14代将軍に任命されて歴史に名を残しました。また8代公方義直は京から高名な学者を招き学問を盛んにし、阿波南部に文化の拠点をつくり、地域の発展に貢献しました。

現在、那賀川町には阿波公方ゆかりの品々や資料を収蔵・展示している「阿波公方・民俗資料館」があり、小中学校の授業にも使われています。

さらに阿波公方が住居を構えた「平島館跡」や、歴代公方のお墓がある「西光寺」など阿波公方にまつわる多くの史跡が残り、全国から歴史に興味のある人たちが訪れています。皆さんもぜひ一度那賀川町を訪れて、豊かな歴史の面影を感じてください。



## あわっ子文化大使の活動紹介！

今年度もあわ文化の魅力の発信や、文化イベントでの司会などで大活躍しました！



「U-18 阿波おどり・人形浄瑠璃フェスティバル 2025」で、司会や受付、案内の係を務めました。(R7.9.14 開催)



霊山寺から極楽寺までの歩き遍路体験や、鳴門金時の芋掘り体験を行い、それらの魅力を発信しました。(R7.10.25 実施)



「徳島県中学校総合文化祭」でも、司会や受付、案内の係を務め、文化祭を盛り上げてくれました。(R7.11.9 開催)



阿波和三盆糖作りの見学や、藍染体験を行い、体感した魅力を発信しました。(R7.12.13 実施)



ホームページ「あわ文化教育」



あわ文化の魅力動画1



あわ文化の魅力動画2

ホームページや動画も見てね！



あわっ子文化大使



## 百年以上続く秋祭り

あわしりつよしのちゅうがっこう 2年 なかくぼ ゆめり 阿波市立吉野中学校 2年 中窪 柚愛里 さん

私の住んでいる阿波市吉野町には、百年以上続く、伝統的な秋祭りがあります。一条神社のお祭りで、毎年 10 月にあり、山車(こし)の一種である屋台が出ます。お祭りは、土曜日と日曜日の二日間にかけて夜遅くまで行われます。その中で、私が特に魅力を感じるのは、二つの屋台の存在です。私は小学生の時、その内の一つ「朝日組」の子ども神輿に参加していました。小学6年生の時には、5人の「乗子」のうち一人に選ばれ、鐘を叩かせてもらいました。朝日組の屋台は、大太鼓・鐘・小太鼓(ぼて)の三種類の楽器で音を鳴らしながら町内を回ります。沿道からのかけ声や応援もあり、地域全体で盛り上がります。

これからも、この地域に根付いている秋祭りに積極的に関わって、伝統あるお祭りを次につないでいきたいです。

